

2組OB(女)：私は人権学習をして命が当たり前生まれてくるものじゃなくっているんつながりがあったから、こういうふうに集まられたりしたのかなっていう、すごい大切なものなんだなって感じました。

4組HY(女)：人権学習などで命について深く考えてきて、もう一度自分や周りの人との関係や命について真摯に向き合っていないといけないなと思いました。

1組ST(男)：戦争について学んで、日本は原爆を受けた国として有名だけど、日本だっているんな国に攻撃をしていろんな命を奪ってきています。だから日本のことだけでなく世界で戦争で傷ついた人を想ってあげないといけないと思いました

5組NG(男)：骨髄バンクの話で、人間で支える側と支えられている側でできているんだなと感じました。

5組KH(女)：私は命の正体は今もこれからも誰にも分からないと思いました。分からないけど、絶対守らなきゃいけない、みんなで大切にしなきゃいけないものだと思います。そして、これからもいろんなことをして、たくさんの人と関わることで、どんどん大きくなっていくのだと思いました。

3組ED(女)：骨髄バンクのことを学習して、家族とかでも関係なくても、支え合うのが大切だと気づきました。

4組YO(男)：僕は生きるとは、この世に生まれ、命をつなぎ、死んでいくことの繰り返しだと思います。

4組HY(女)：ちょっと悩んでることなんですけど、クラスとか学校とかで、バカとかアホとか、ちょっと頭おかしいん違うとか、冗談で言ってる人が見受けられるんですけど、それって冗談でも本当に言っていることなんかなってずっと思っています。(いつぐらいから思ってる?)小学校のときもちょっとあったし、今もたまに聞こえたりするのでちょっと気になっています。(減ってきた?増えてきた?)ちょっと減った感じはしますね。(減った感じはする。けどまだある。)自分が知らないところでも起こっているかもしれないと思うので、それをなくしたいと思います。

3組YM(女)：コロナウィルスで世界の人々がたくさん亡くなっていくなかで、私たちが健康でここにいられることが幸せだと思いました。

2組OB(女)：私は自分のことなんですけど、誰かに大丈夫だよとか、落ち込んでる子たちに言ったりとかするんですけど、そのときに何が大丈夫なのかっていうふうに訊かれたことがあって、本当にそうだと思う、ちょっと無責任なことを言ったりしてるっていうのが、ちょっと悩みかなっていうふうに思っています。

2組KN(男)：僕の悩みは、OBさんが授業中に静かにしてって言うんですけど、僕もたまになんですけど聞けないときがあって、それが悩みかなって思います。

1組MO(男)：僕の友達で、家のお母さんに死ねって言ってる子を目撃したんですけど、そのことを考えると、もしお母さんが本当に死んでしまったときに、ご飯も作ってくれないし家事もしてくれないし、お風呂もつ

くれないし、電気代とか水道代とか生活代も払ってくれているのに、そんな大事な人に死ねって言うのはいけないので、言葉の重さを感じるべきだと思いました。

4組SO(女)：さっきHSさんが言ってくれたことに似てるんですけど、教室で休み時間とかに死ねとかそういう暴言が聞こえたりするんですけど、そういう暴言とかが耳に入ってくると、命をそんなに軽々しく扱っていいのかなって思います。そういう冗談のつもりで言った暴言などで傷つく人もいますので気をつけた方がいいと思いました。

1組KK(女)：私もクラスでバカ、アホとか言う人が何人かいます。でも1組では先生や周りの人が、言われん、や、言ったらアカンよ、と言っている人が少しだけいます。その人を増やしていきたいです。

1組KY(男)：バカとかアホとか、ほんなん言よって、言われた人も、あはは何、って笑いよるけど、心の奥では傷ついてると思いました。

3組MY(男)：自分とか他の人がケガしたときに、周りの人とかが心配してくれるんで、そういう人が増えたら、互いの絆も深められるんじゃないかと思います。

6組FT(男)：レディに視覚障害者の人がいて、レディに点字ブロックがないので、その人が困っていました。でも誰も助けなかったので、僕が店員さんに言うとありがとうと言ってくれた。その時僕は困っている人がいたら助けようと思う。まだ何にもできないけど、一人一人の命を救っていこうと思う。その時の自分がスカッとして嬉しかった。

4組HS(女)：先ほど店員さんに声をかけたっ

ていうこと、すごく素晴らしいと思いました。命を救っていきたいって言えることは素晴らしいと思うけど、私は他の人の命はそんなに簡単に救えるものではないと思っているので、ちょっとでもいいことを重ねていけたらなと思いました。

5組KM(男)：世界には外国人差別や黒人差別などいろいろな差別があるんですけど、クラスの中や廊下を行き来している間に、自分の目上の人に対する敬語が崩れていたり悪口を言ったりするところをたまに見ます。僕はこれも身近な人権問題だと思います。

1組FH(男)：自分の悩み事は、クラスでよく下ネタとか暴言が聞こえてくるんですけど、周りにも嫌な気持ちになっている人がようけおるんですけど、それをやめていただきたい。

1組MO(男)：さっきの時間に体育でサッカーをやったんですけど、キーパーをやって点を決められたときに、味方の子にドンマイって言われたけど、相手の子にドンマイって言われたらちょっとイラッときてしまって、言葉の勘違いとかで気持ちが変わったりするのがあったり、僕の部活で先輩に呼び捨てで言っている子とかがいるんですけど、そういう上下関係とか言葉で示していかないといけないかなと思います。

2組KN(男)：僕のクラスでは物が多いときに配る人が、ボランティアで配る人が多くて、いいクラスに近づけてるなと思いました。

6組FT(男)：僕は最近クラスではあんまり仲いい友達がいなくて、僕はすぐ裏切る仲間と一生友達でいられる仲間だと、一生友達でいられる仲間の方がいいので、本当の友達と言える仲間と一緒にいようと思う。僕も人間なので好き嫌いがあるけど、行き過ぎてしまう

と差別になるので、できるだけ差別にならないように頑張ろうと思います。

3組TN(男)：集団の中に悪口を言ったり悪いことをしてる人に向かって、アカンよと言って中に割って入って止めさせるということがなかなかできなくて、そういうことをすることから人権を守ることが始まっていくと思いました。

1組ED(女)：この前の部活の練習のときに、とある友達が練習態度で先生に呼ばれていたことがあったんですけど、その時にその友達が練習中にたまに私にちょっかいを出したみたいで、私的にはそんなに気にしてなかったんですけど、その子は結構気にしてたみたいで、その先生にそのことを言って、私もそこに行くと、その友達が自分から言ったことを先生に聞いたときは、私的にも正直すごく嬉しかったし、その子がすごく立派に見えて、そういう人が増えていったらもっといい学年ができあがると思いました。

4組UM(女)：私の個人的な悩みなんですけど、私が落ち込んでいたりするときに、他の子、周りの子たちは、大丈夫？とか、話聞こうか？とか言ってきてくれたりするときがあるんですけど、人に心配をかけたくないという思いが私自身強いので、大丈夫と断ってしまうことがあるんですけど、そういうときはどうすればいいんですか。(私は思うんですけど、人は生まれてきた瞬間から、人に迷惑をかけずには生きていけないって、そう思ってる。迷惑をかけないように生きていこうと思っても、人は生きてるだけで誰かに迷惑をかけているものだと思うんです。心配をかけているものだと思うんです。そしてそれは消し去ることはできないんじゃないかと思う。消し去ることができない代わりに、自分の中で、ありがとう、ごめんな、ありがとう、ごめんなんて

思い続けるしかないんじゃないかって私は思ってる。かといってこの命を失っても、もしかしたら、誰かに迷惑をかけたりとか、誰かに心配をかけたりとかするかもしれないから、やっぱりこの世に生を受けた瞬間から、人っていうのは人に心配や迷惑をかけずに生きていくっていうのはできないんじゃないかなって思う。それを消し去ることができないんだったら、せめて人にありがとうとか、ごめんねとかって思う気持ちを大事にしたらいんじゃないかなって思ったりする。いい?)